

令和8年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	ウェルビーイングにつなぐ 家庭基礎 (教育図書)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

衣生活、食生活、住生活および子どもの発達と保育、高齢社会、消費生活に関する事項を生活科学として理解するとともに、生活文化と関わらせて考え、充実した生活を営むことができるようにします。

2 学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりとともに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生涯の生活設計1	①自分の将来をイメージしよう！	a:生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 ・これからの人生で起こりうるライフイベントについて理解している。 ・生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解している。 b:自分自身について客観的に分析し、自分の目指すライフスタイルの実現に向けて問題を見いだして課題を設定している。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、人生で起こりうるライフイベントについて自分の将来と照らし合わせながら主体的に考えようとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント
	第1章 青年期の自立と家族・家庭	①自立への一歩を踏み出そう ②家族・家庭って何？ ③将来の自分と家庭を想像しよう	a:自立の必要性と、青年期の課題や生活課題に対応した意思決定の大切さを理解している。 ・家族関係の変化や男女共同参画社会、ワーク・ライフ・バランスなどの課題について理解を深めている。 ・家族に関する法律（婚姻、夫婦、親子、相続等）や社会制度について理解している。 b:生涯発達の視点から、青年期の過ごし方について問題を見いだして課題を設定している。 ・これからの家族・家庭のあり方について、課題解決への実践を評価したり、改善したりしている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭の課題について自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント

	第1章 消費生活と経済計画	①何をどうやって買う？ ②消費者問題と消費者を守るしくみとは ③消費者の権利と責任を考えよう ④社会経済につながる家計とは？ ⑤将来の経済計画を考えよう	a:消費行動における意思決定の重要性について理解している。 ・契約するときの注意点、契約における未成年と成年の法律上の責任の違いについて理解している。 ・多様な契約の仕組みや使い方や、クーリング・オフ制度の他、契約がキャンセルできる場合を理解している。 ・消費者の権利と責任、消費者市民社会について理解している。 ・家計と社会経済、給料の仕組み、家計の構造（可処分所得や非消費支出など）について理解している。 ・人生にかかるお金、リスクと備えについて理解し、資金計画を計算できる。 b:生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、問題を見いだして課題を設定し、課題の解決に向けて考え、工夫したり、実践を評価したり改善したりして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画や、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント
	第4章 共生社会と福祉	①共生ってなんだろう？ ②ともに支え合う社会とは	a:自助、互助、共助、公助について理解している。 ・社会保障制度や公的年金制度について理解している。 b:家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について、実践に向けた計画を考え、工夫している。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント
	デートDV予防	デートDV 予防	b:望ましい青年期の男女のかかわり方・付き合い方について、自らの考えをまとめることができる。 c:デート DV 予防について関心を持ち、青年期の自立の課題について自分や周囲の人々の生活の充実向上に関心を持ち学習活動に取り組もうとしている。		課題 ワークプリント	振り返りシート

	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	家事労働から見る課題	b: 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決方法を検討、実践に向けた計画を考え、工夫している。 c: 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている		課題	課題
2	第3章 住生活と住環境	① 私たちの暮らす住まいとは？ ② 快適・安全に暮らそう ③ 持続可能な住まいのために	a: 住まいの空間と生活との関わり、住まいの役割について理解している。 ・住居の平面図を読みとることができる。 ・快適に暮らすための工夫について理解している。 ・自然災害や家庭内事故などに対応した安全な住宅・住生活を理解している。 b: 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりなどについて、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。 c: 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント

第2章 子どもの生活と保育	①子どもはどう生まれ育つ？ ②子どもの生活にどうかかわる？ ③子育て社会の課題とは？	a:子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を理解している。 ・生命の尊さを認識するとともに、保育における親やおとなの役割を理解している。 ・子どもは生活の中で人と関わることを通して成長することを理解している。 ・子どもを取り巻く社会の変化や子育ての課題について理解を深めている。 ・子どもの権利と福祉について理解している。 ・少子化、育児不安、児童虐待、子どもの貧困など、現代の子どもを取り巻く環境の変化と課題について考え、新聞・書籍・インターネットを活用し、資料の収集・整理ができる。 b:子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を捉え、子どもにとってよい環境について考えたり、親の役割や子どもを生み育てることの意義や望ましい保育環境について考え、まとめたり、発表したりしている。 ・子どもの健やかな発達を支えるために、子どもとの適切な関わり方について、多角的に考え、工夫している。 c:自分が将来保育に関わる存在であることを理解し、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもとの関わりと保育・福祉について、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント
第3章 高齢期の生活と福祉	①高齢期ってどういう時期？ ②高齢化する日本を生きる	a:高齢期の心身の特徴や高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 ・生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 b:高齢者の自立生活を支えるための、家族や地域及び社会の果たす役割について、実践に向けた計画を考え、工夫している。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、地域社会に参画しようとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント

	第2章 衣生活と健康	①衣服の役割ってなんだろう？ ②衣服はどうやってつくられている？ ③衣服の計画・管理を知ろう ④今後の衣生活を考えよう	a:被服の機能や、衣服が健康に与える影響について理解している。 ・ライフステージや目的に応じた衣服について理解している。 ・被服の入手、洗濯、保管などの被服管理について理解し、管理できる技術を習得している。 ・資源の有効利用の観点から、購入、活用、手入れ、再利用、廃棄まで考えた被服計画の必要性について理解している。 b:衣服と健康、被服の機能性や快適性、衣服と環境などについて、問題を見いだしたり、解決方法を検討し、実践に向けた計画を考え、工夫しているし、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント 被服実習
--	---------------	---	---	------	-----------------------	-----------------------

3	第1章 食生活と健康	①なぜ食べるの だろう？ ②私たちは何を 食べている？ ③食品を選ぼう ④今と未来の体 をつくろう ⑤持続可能な食 生活を目指そう	a:食と健康の関わりについて知り、食事の 大切さを理解している。 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食 品の栄養的特質や栄養素の特徴と、それを 多く含む食品について理解している。 ・日常用いられる食品の栄養素的特質、調 理上の性質について理解している。 ・食品の表示の意味を理解している。 ・食中毒や食物アレルギーについて理解 し、健康・安全を考えた調理をすることが できる。 ・日常食の調理について、栄養バランスの よい献立作成、食材の選択、調理、盛り付 け、マナー、配膳などについて総合的に理 解している。 ・持続可能な食生活のあり方を理解し、資 源、エネルギーに配慮した食品の購入、調 理、保存ができる。 b:食の安全や食品の調理上の性質、食文化 の継承を考慮した献立作成や調理計画、健 康や環境に配慮した食生活について、問題 を見いだして課題を設定したり、解決方法 を検討し、実践に向けた計画を考え、工夫 したり、考察したことを根拠に基づいて論 理的に表現している。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構 築に向けて、食生活と健康について、自分 や家庭、地域の生活の充実向上を図るため に実践しようとしている。	定期考査	定期考査 課題 調理実習	課題 ワークプリント 調理実習
		防災を通した持 続可能な関係づ くり	a:一生を通して、社会の動きを見つめ、不 測の事態にも柔軟に対応する必要性や広 い視野をもって生活を創造していくこと の重要性を理解している。 ・自分自身や社会全体のウェルビーイング について理解を深めている。 b:これまでの学習内容を踏まえて、行動を 考えたり、修正したりしている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構 築に向けて、課題の解決や、自分や家庭、 地域の生活の充実向上を図るために実践 しようとしている。	定期考査	定期考査 課題	課題 ワークプリント

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和8年度 家庭科

教科	(専)家庭	科目	生活産業基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	生活産業基礎（実教出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

日頃から生活産業に興味をもち、新聞などさまざまな媒体を通して社会の動きや出来事について関心を持ち、正しい知識を習得してください。
また、授業プリント等は保管し、自分自身の進路実現の参考にしてください。

2 学習の到達目標

【知識及び技術】

生活産業や関連する職業に関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、さまざまな視点で解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

進路選択と専門性の向上をめざし自ら探究し、主体的・協働的に取り組む態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	各職業に求められる資格や技術について理解できる。 家庭に関する科目の学習がスペシャリストとして生活産業に関する職業に結びつくことを理解できる。	生活産業に関する専門的な知識・技術の理解と自身の卒業後の進路について思考を深め、発表等を通じて表現することができる。	各分野のスペシャリストとして必要な知識と技術を習得しようとする意欲と態度を身に付けることができる。 また、進路実現に向け実践できる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりとともに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学 期	第1章 「生活産業」を学ぶ	1 節 生活産業の役割	a:産業構造について知識を身につけている。	定期考査	定期考査 提出プリント	
		2 節 産業構造の変化	b:生活産業基礎を学ぶ意義について、自分の考えをまとめる。			
	第2章 ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供	3 節 職業人に求められるもの	a:商品・サービス開発に必要な知識としての色彩、配色の基礎を理解する。 b:商品・サービス開発に必要な知識を踏まえ、これからの時代に求められる要素を考える。 c:身近な商品・サービスに注目しながら、今後の生活に必要なことを考える。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
		1 節 消費者ニーズの把握	a:どのような消費者ニーズがあるか理解する。	定期考査		
		2 節 商品・サービスの企画・開発及び販売・提供 3 節 マネジメントサイクル・経営理念	b:消費者ニーズを把握し、自分自身で商品・サービスの開発をする。 c:自分で考えた商品・サービスが世の中にどういった影響を与えるか考え振り返る。		定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
2 学 期	第3章 食生活関連分野	4 節 商取引に関する法規	a:関係法規について知識を身につけている。	定期考査		
		1 節 食品製造業	a:食生活の変化と生活産業のかかわりについて理解する。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント
		2 節 外食産業				
		3 節 中食産業	b:食生活の変化と生活産業のかかわりについて、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。		実習 発表	実習 発表
		4 節 食品流通業	c:食生活の変化と生活産業のかかわりについて、現状を分析し、今後の自分の進路実現と照らし合わせながら食生活の計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる。			振り返りシート
		8 節 ライフスタイルの変化と食生活				
		9 節 食生活の課題				
		5 節 食品製造にかかわる職業と資格	a:食生活関連産業の職業と資格について理解する。	定期考査	定期考査 提出プリント	
		6 節 外食産業にかかわる職業と資格	b:食生活関連産業の職業と資格について、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。		発表	
		7 節 食品流通にかかわる職業と資格				

	第4章 衣生活関係分野	1 節 アパレル素材産業	a:衣生活の変化と生活産業のかかわりについて理解する。	定期考查	定期考查 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
		2 節 アパレル産業 3 節 ファッション小売産業 7 節 衣生活の変化 8 節 衣生活の課題	b:衣生活の変化と生活産業のかかわりについて、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。 c:衣生活の変化と生活産業のかかわりについて、現状を分析し、今後の自分の進路実現と照らし合わせながら衣生活の計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる。			
		4 節 アパレル素材産業の職業と資格 5 節 アパレル企画・生産にかかわる職業と資格 6 節 アパレルの販売にかかわる職業と資格	a:衣生活関連産業の職業と資格について理解する。 b:衣生活関連産業の職業と資格について、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。	定期考查	定期考查 提出プリント 発表	
	第5章 住生活関係分野	1 節 住生活にかかわるさまざまな産業 5 節 住生活・住まいの変化 6 節 住まいをめぐる課題	a:住生活の変化と生活産業のかかわりについて理解する。 b:住生活の変化と生活産業のかかわりについて、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。 c:住生活の変化と生活産業のかかわりについて、現状を分析し、今後の自分の進路実現と照らし合わせながら住生活の計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる。	定期考查	定期考查 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
		2 節 建築にかかわる職業と資格 3 節 インテリアデザイン・リフォームにかかわる職業と資格 4 節 その他の職業と資格	a:住生活関連産業の職業と資格について理解する。 b:住生活関連産業の職業と資格について、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。			

3学期	第6章 ヒューマンサービス関連分野	1 節 高齢者にかかわる産業	a: 社会の変化とヒューマンサービスについて理解する。	定期考查	定期考查 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
		2 節 障がい者にかかわる産業	b: 社会の変化とヒューマンサービスについて、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。			
		3 節 子どもにかかわる産業	c: 社会の変化とヒューマンサービス住生活の変化と生活産業のかかわりについて、現状を分析し、今後の自分の進路実現と照らし合わせながらヒューマンサービスと関わる計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる。			
		8 節 現代の社会福祉				
		9 節 ヒューマンサービス従事者に求められる資質				
		10 節 高齢者施設訪問実習				
		4 節 高齢者にかかわる職業	a: ヒューマンサービス関連産業の職業と資格について理解する。	定期考查	定期考查 提出プリント 発表	
		5 節 障がい者にかかわる職業	b: ヒューマンサービス産業の職業と資格について、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。			
		6 節 子どもにかかわる職業				
		7 節 ヒューマンサービスにかかわる資格				
	第7章 なりたい自分になるために	1 節 職業の選択と自己実現	a: 職業生活と生きがいについて理解する。	定期考查	定期考查 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振り返りシート
		2 節 職業人に必要な資質	b: 働く意義について、社会の変化に照らし合わせながら自分の考えをまとめることができる。 c: 職業を通じての自己実現に向けて、意識して実生活を送る。			
		3 節 将来の生活と学業	c: 自分自身の将来を見据え、今後の学業と進路計画について、深く考えることができる。			提出プリント 振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和8年度 家庭科

教科	(専)家庭	科目	保育基礎	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	保育基礎 (実教出版)						
副教材等	保育基礎 学習ノート (実教出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

保育の意義や方法，子どもの発達と生活の特徴，子どもの福祉や文化について理解し，関連する技術を身につけ，保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。

2 学習の到達目標

【知識及び技術】

周りの生徒と共同しながら主体的に学び，保育に関わる知識や技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

保育に関わる課題について思考を深め，課題を発見する。

【学びに向かう力、人間性等】

実際に乳幼児とふれあう学習など，実践的な学習活動を行う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特長，生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章 子どもの保育	1節 保育の意義 1 保育とは 2 保育の意義	b 保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら扱い、保育が人間形成にどのようにかわるかを考える。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		2節 保育の方法 1 保育者の役割とは 2 一人ひとりに合わせた指導	b 保育者にはどのような資質が求められるか、またそれを身につけるにはどのようにしたらよいかなど、保育者観についての考察を深める。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		3節 保育の環境 1 家庭での保育 2 幼児教育・保育の場 3 子どもが育つ環境の変化と課題	a. c 家庭での保育の現状や、幼児教育・保育の場（幼稚園や保育所、認定こども園など）の保育環境の特徴や役割を理解する。 a 子どもを取り巻く社会環境の変化や今後の保育の課題について理解し、子どもの健やかな発達のために適切な保育環境について考察する。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
2学期	2章 子どもの発達	1節 子どもの発達の特性 1 発達と保育 2 発達の共通性と個別性	a. c 乳幼児期は人の発育・発達において大切な時期であり、共通性や個別性といった特性があることを理解する。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		2節 子どものからだの発達 1 発育・発達の評価 2 身体的特徴 3 生理的特徴	a. c 乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴をとらえ、新生児期～乳幼児期へと続く人の発達の過程を理解する。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		3節 子ども心の発達 1 社会・情緒的な発達 2 知的発達 3 言葉の発達	b 心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。 a 知的発達、言葉の発達、社会性・情緒など様々な側面から、子どもの心の発達をとらえる。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	3章 子どもの生活	1節 子どもの生活と養護 1 生活と健康 2 栄養と食事 3 衣生活	a. c 子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。 a. c 乳幼児期の栄養や食事（乳汁栄養や離乳食、幼児食など）の特徴を実習を通して理解する。 b 子どもの衣生活と育児用品について、身体特徴をふまえ、安全で快適に生活するために何が必要か選択できる。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート 調理実習レポート

3 学期	単 元 名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
		2 節 生活習慣の形成 1 子どもの生活習慣 2 基本的な生活習慣 3 社会的な生活習慣	a. c 基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考察する。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		3 節 健康管理と事故防止 1 子どもの健康管理 2 事故の防止と応急処置	a. c 子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや予防接種、事故の実態や原因などを理解する。 b 子どもの事故防止や安全な環境整備にはどのような配慮や準備が必要か具体的事例とあわせて理解する。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和8年度 家庭科

教科	(専)家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

被服の構成、被服材料の種類や特徴を学ぶとともに、縫製に関する基礎的な技術の習得をめざす。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

・被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

・被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

・衣生活の充実を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	・被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	・衣生活の充実を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	第 1 章 衣服の構成	1 節 人体と衣服	a 衣服に求められる着心地のよさを理解する。 c 衣服の 2 つの形状（平面構成衣服・立体構成衣服）や、既製衣料サイズ表示を学ぶ。 a 体形の特徴や動作によって適した衣服があることを学ぶ。 a 年齢や着脱によって生じる様々な変化や影響を理解し、適応する衣服をつくることができるようにする。	定期考查	定期考查 提出ﾌﾟﾘﾝﾄ	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 振り返りｼｰﾄ
		2 節 立体構成衣服と平面構成衣服	a 立体構成衣服と平面構成衣服、それぞれの形状の違いを学び、衣服を構成する要素の理解を深める。	定期考查	定期考查 提出ﾌﾟﾘﾝﾄ	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 振り返りｼｰﾄ
	第 3 章 洋服の制作	1 節 製作の基礎	a 手縫いの基礎（並縫い・本返し縫い・まつり縫い・ボタン付け）を学ぶ b クロスステッチで刺繍を学ぶ。 a ミシン縫いの基礎を学ぶ。	定期考查 実習作品	定期考查 提出ﾌﾟﾘﾝﾄ	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 振り返りｼｰﾄ
		3 節 下衣の製作	a 裁断、縫製に関する基礎的な事項を理解し、技法を習得する。	定期考查 実習作品	定期考查 提出ﾌﾟﾘﾝﾄ	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 振り返りｼｰﾄ
	第 3 章 洋服の制作	3 節 下衣の製作 （継続）	a 裁断、縫製に関する基礎的な事項を理解し、技法を習得する。（継続）	定期考查 実習作品	定期考查 提出ﾌﾟﾘﾝﾄ ト	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 振り返りｼｰﾄ
2 学期	第 2 章 衣服の素材	1 節 衣服素材の種類	a 繊維や繊維から成る糸や布の種類と特徴について理解する。 b 環境に配慮した新しい衣服素材や取り組みに関心をもつ。	定期考查	定期考查 提出ﾌﾟﾘﾝﾄ	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 振り返りｼｰﾄ
		2 節 衣服素材の性能と選択	a 保温性、通気性、吸湿性・吸水性、透湿性・防水性など、さまざまな衣服材料の性能を理解する。 b デザインや着用目的など、用途に合わせた衣服材料を適切に選択し、取り扱いできる力をつける。	定期考查	定期考查 提出ﾌﾟﾘﾝﾄ	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 振り返りｼｰﾄ

2 学期	第 3 章 洋服の製作	2 節 上衣の製作	a 裁断，縫製に関する基礎的な事項を理解し，技法を習得する。	定期考查 実習作品	定期考查 提出ﾌﾟﾘﾝﾄ	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 振り返りｼｰﾄ
	第 4 章 和服の製作	1 節 製作の基礎	b 歴史の中での和服や，こんにちでの位置づけを理解し，伝統的な和服の意義についての理解をふかめる。 a 和服地である反物や，その長さの単位（着尺地），その他の名称など和服独自の伝統的な用語を学ぶ。 c 和服の構成と製作に関する知識を習得し平面構成衣服についての理解を深める。	定期考查	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 振り返りｼｰﾄ
3 学期	まとめ	バックの製作	a 刺しゅうの技術を身に付ける b 2 学期までの知識・技能をいかし、バックを製作する。 c 1 年間の製作の振り返りをする。	実習作品 定期考查	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 提出ﾌﾟﾘﾝﾄ	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 振り返りｼｰﾄ

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和8年度 家庭科

教科	(専)家庭	科目	フードデザイン	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	フードデザイン（実教出版）						
副教材等	フードデザイン学習ノート（実教出版）。家庭科 55 デジタル+（教育図書）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の食生活について、広い視野で理解ができるようにする。授業形態を主体的に取り組めるものとする。実習など体験的学習を通して技術の向上と理解を深める。

2 学習の到達目標

【知識及び技術】

栄養，食品，献立，調理，テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し，食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

食生活の充実向上を目指して自ら学び，食生活の総合的なデザインとの食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	栄養，食品，献立，調理，テーブルコーディネートなど，フードデザインに必要な要素を相互に関連付けて理解し，実践できる技術を習得している。	多面的に食生活の現状を捉えて思考を深め，食生活の充実向上を目指して自ら課題を発見するとともに，家庭や地域の実情に合わせてより豊かな食生活を創造することによって，課題を解決できる。	人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために，進んで学ぶ姿勢を持ちつつ，食材を適切に選択し作るところから食べるところまでを総合的に捉えて，主体的に計画・実践することができる。また，習得した知識や技術を家庭や地域で積極的に活用することにより，食育の推進に他と協働して取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりと共に評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学 期	1 章 食 生 活 と 健 康	1節 食事の意義と役割 1項 からだをつくる食事 2項 食生活を豊かにする食事 2節 食をとりまく現状 1項 栄養摂取の変化と現状 2項 生活習慣病と欠食 3項 ライフスタイルの変化 4項 食料自給率と食品ロス 5項 食品の安全性と環境の変化	a. 食事は、栄養を供給し、生命の維持や健康の保持増進を図ると同時に、精神的な役割や文化的な役割を果たしていることが理解できる。 日本の食生活の現状について、問題点が理解できる。 現代の食生活の現状について、情報を収集・整理し、考えをまとめることができる。 グループ討議の結果をまとめ、パワーポイントなどでプレゼンすることができる。 b. 心身ともに健康で豊かな食生活を営むための食事のあり方について思考を深め、自分の食生活の現状を判断することができる。さらに、レポートを通して発表することができる。 c. 自分自身の食生活や日本の食生活の現状に関心を持ち、改善しようとする意欲が感じられる。	定期考査	定期考査 提出ノート 実習 発表	提出ノート 実習 発表 振り返りシート
	4 章 調 理 の 基 本	1節 調理とおいしさ 1項 調理の目的 2項 食べ物のおいしさ 2節 調理操作 1項 非加熱操作 2項 加熱操作 3項 加熱調理器具 3節 調味操作 1項 調味の目的 2項 調味をする段階	a. 調理の目的とおいしさにかかわる要因について理解している。 主な加熱操作と非加熱操作について、食品の調理性や栄養的特徴などとかかわらせて理解できる。 日常食、行事食、供応食などの調理に必要な調理技術の基礎を身につけることができる。 b. 食物のおいしさは、味・におい・色・テクスチャー・温度などに関わっており、調味、加熱やその他の調理操作が料理のできあがりに与える影響について思考を深めることができる。 調味、加熱やその他の調理操作が、料理のできあがりに大きく影響することを実験を通して観察し、考察することができる。 c. 調理の目的について、安全性、栄養、嗜好、心身の健康などの面から関心を持ち、学ぼうとする意欲が感じられる。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート

2 学 期	2 章 栄 養 素 の は た ら き と 食 事 計 画	1 節 栄養素のはたらき 1項 食物の摂取と栄養 2項 炭水化物 3項 脂質 4項 たんぱく質 5項 ミネラル 6項 ビタミン 7項 その他の食品成分 8項 エネルギー 2 節 ライフステージと栄養 1項 乳幼児期の栄養 2項 青少年期の栄養 3項 成人期の栄養 4項 高齢期の栄養 3 節 食事摂取基準と食事計画 1項 日本人の食事摂取基準 2項 食事計画	a. 炭水化物、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルなどの種類とはたらきについての知識を習得することができる。消化・吸収について理解している。 食品ごとのアミノ酸スコアを計算することができる。機能性成分にはどのような効果があり、どのような食品に含まれているか理解できる。 1日に必要なエネルギー量を求めることができる。 乳幼児期から高齢期までの各ライフステージごとの栄養の特徴、食生活上の留意事項について理解できる。 エネルギーや各栄養素の食事摂取基準について理解できる。 b. からだの中でそれぞれの栄養素がどのようなはたらきをしているのかを考えることができる。 各ライフステージに応じた望ましい食生活を判断することができる。 実際の栄養摂取量と「日本人の食事摂取基準」や「食品群別摂取量のめやす」から、適切な食事計画について考えることができる。 c. 炭水化物、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルなどの種類とはたらき、栄養素の消化のしくみに関心を持つようとしている。 機能性成分にはどのようなものがあるか知ろうとしている。 食生活の現状とも関わらせながら、「日本人の食事摂取基準」や「食品群別摂取量のめやす」などを活用し、ライフステージに応じた食事計画にいかそうとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
-------------	---	--	---	------	----------------------------	-------------------------------

2 学 期	3 章 食 品 の 特 徴 ・ 表 示 ・ 安 全	1節 食品の特徴と性質 1項 穀類 2項 いも類 3項 砂糖 4項 豆類 5項 種実類 6項 野菜類 7項 くだもの類 8項 きのこと類 9項 海藻類 10項 魚介類 11項 肉類 12項 卵類 13項 牛乳・乳製品 14項 油脂類 15項 かんてん・ゼラチン 16項 し好食品 17項 調味料・香辛料 18項 加工食品と加工方法 19項 特別用途食品と保健機能食品 2節 食品の生産と流通 1項 第一次産業の現状 2項 食品の生産 3項 食品の流通 3節 食品の選択と表示 1項 多様化の背景と現状 2項 食品の選択 3項 食品の表示 4節 食品の衛生と安全 1項 食中毒 2項 台所の衛生 3項 食品添加物	a. 食品の特徴，調理上の性質及び調理による成分の変化についての知識を習得することができる。 調理を前提として，よりよい食品を見きわめ，購入することができる。 食品を衛生的に取り扱うことができる。 食品の生産・流通・加工などの現状が理解できる。 食品の衛生と安全に関する基本的な知識を身につけている。 b. 食品の特性を図表などから科学的に考察できる。 食品の特徴，調理上の性質及び調理による成分の変化を実験を通して観察し，考察することができる。 輸入食品や様々な加工食品など多種多様な食品の中から，目的に応じて適切な選択ができる。 食品について安全や衛生に配慮した適切な判断ができる。 食品の生産・流通・加工などの現状における課題について考えをまとめ，レポートを通して発表することができる。 c. 食品の特徴や，調理操作によって変化する食品の成分に関心を持つようとしている。 食品の生産・流通・加工などの現状に関心を持つようとしている。 食品の表示・衛生に関心を持つようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
-------------	---	---	---	------	----------------------------	-------------------------------

3学期	5章 料理様式とテーブルコーディネート	1節 料理様式と献立 1項 日本料理の様式と献立 2項 西洋料理の様式と献立 3項 中国料理の様式と献立 2節 テーブルコーディネート 1項 テーブルコーディネートとは 2項 テーブルコーディネートの基本 3項 和風のテーブルコーディネート 4項 洋風のテーブルコーディネート 5項 中国風のテーブルコーディネート 6項 室内のコーディネート	a. 様式別の食卓構成や食卓作法, 供応に伴うマナーを身につけることができる。 食器・盛りつけ・テーブルクロス・照明などについて適切な取り扱いができる。 目的に応じたテーブルコーディネートができる。 b. 食器・盛りつけ・テーブルクロス・照明などについて, 目的に応じた適切な選択ができる。 c. 日本料理, 西洋料理, 中国料理など代表的な料理様式について, それぞれの特徴に関心を持とうとしている。 季節や行事, 食事の目的などに応じて食卓を演出しようとする意欲・関心が感じられる。	定期考查	定期考查 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
	7章 食育	1節 食育の意義と推進活動 1項 食育の意義と課題 2項 食育推進活動例	a. 食育活動について情報を収集・整理し, 考えをまとめることができる。 食育基本法の理念を知り, 食育に関するさまざまな活動が行われていることを理解できる。 b. 食についての課題を見いだし, その解決を目指した食育活動について思考を深めることができる。 c. 食育の意義と活動に関心を持とうとしている。	定期考查	定期考查 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート

各学期	6章 フードデザイン実習	1節 献立作成 1項 日常食の献立の作成条件 2項 日常食の献立作成の手順 3項 対応食・行事食 4項 テーマ設定と調理実習	a. 食事のテーマに応じた献立作成, 食品材料の選択と調理, テーブルコーディネートと料理のサービス方法など, 一連の流れを計画し実践ができる。 具体的な食事テーマの設定, 目的に応じた献立作成, 献立に適した食品の選択, 食品の調理性を踏まえた適切な調理について, 理解できる。 日本料理, 西洋料理及び中国料理の基本的なテーブルセッティング, テーマにふさわしいテーブルコーディネート及びサービスの方法を理解できる。 b. 具体的な食事テーマを設定し, その目的に応じた献立を考えることができる。 作成した献立に適した食品を選択する事ができる。 食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や周囲の環境を判断することができる。 c. 食事のテーマにふさわしい献立や食卓の整え方, 周囲の環境づくりを行おうとする意欲・関心が感じられる。	定期考査	定期考査 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振り返りシート
-----	-----------------	---	--	------	----------------------	-------------------------

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度